グリップライン

取付説明書 ― 転落防止柵 ―

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。

●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
🔑ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

⚠警告

- 本製品は、戸建住宅の玄関アプローチや屋外通路、屋外階段、隣地境界での転落防止を目的にしています。建物の最上階や廊下、バルコニーには設置しないでください。
- 人が滞留したり、多くの人が利用するおそれのある場所には設置しないでください。

⚠注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 本製品にグリップライン歩行補助手すりを取付ける場合は、グリップライン歩行補助手すり取付説明書（C310）を参照してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

補足

- 本製品単独では、歩行補助手すりとしての機能はありません。
別売の「グリップライン歩行補助手すり-フロントビーム仕様-」と併用することで、転落防止機能を備えた歩行補助手すりとして使用することができます。

＜施工上のご注意＞

⚠ 注 意

- ボルト・ナット・ネジ類は、弊社純正品を規定本数使用して、施工後に締付け具合を必ず確認してください。製品の破損や転落事故につながるおそれがあります。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 柱埋込み時には水抜き穴をふさがないように注意して施工してください。
  ふさいでしまうと腐食やたまった水の凍結で、柱が破損するおそれがあります。

補 足

- パネルＡや柱の切断・穴あけ加工を行なう場合、金属用の工具を使用してください。

＜基礎工事について＞

⚠ 注 意

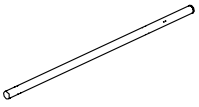
- 地盤の形状、構造物のコンクリート強度や柱根元の固定強度によって、製品の機能が著しく低下するおそれがあります。基礎の施工時に十分留意してください。
- コンクリート(またはモルタル)には､塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)は使用しないでください｡使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります｡必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

■梱包明細表

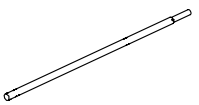
1転落防止パネルA型

名　称	略　図	員数
パネルA		1
柱ブラケット		4
1-① M6×30角根丸頭ボルト		4
1-② M6バネ座金		4
1-③ M6平座金		4
1-④ M6袋ナット		4
1-⑤ φ4×16トラスタッピンネジ1種		16

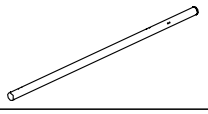
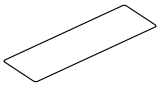
2転落防止パネル 主柱T-11

名　称	略　図	員数
主柱T-11		1

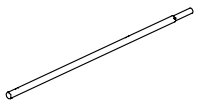
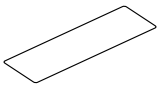
3転落防止パネル 主柱T-11ロング

名　称	略　図	員数
主柱T-11ロング		1

4転落防止パネル 端部・角柱T-11

名　称	略　図	員数
端部・角柱T-11		1
使用注意シール		1
取付説明書〈C311〉	―	1
取扱説明書〈UC012〉	―	1

5転落防止パネル 端部・角柱T-11ロング

名　称	略　図	員数
端部・角柱T-11ロング		1
使用注意シール		1
取付説明書	―	1
取扱説明書	―	1

1. 施工時の重要確認事項

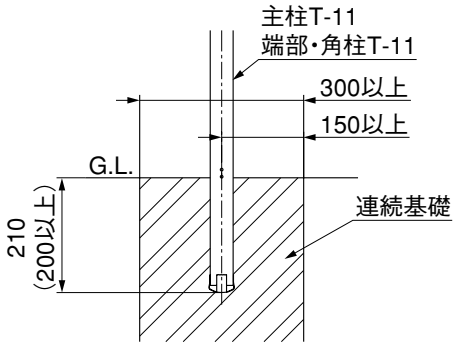
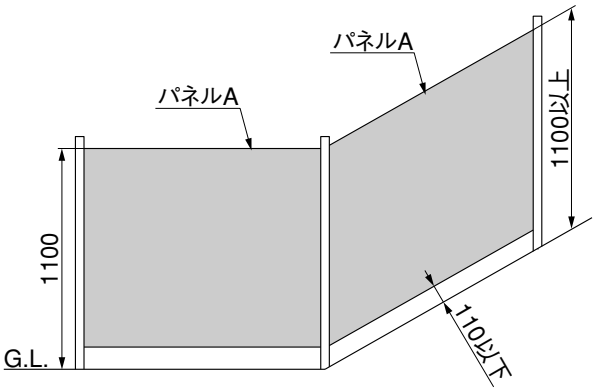


図1-1

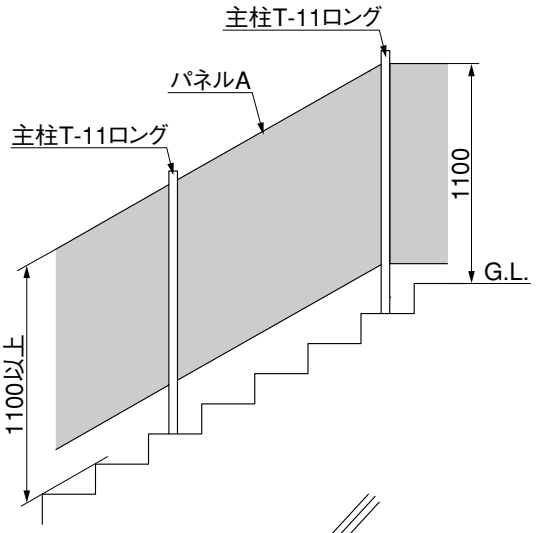
ポイント

- 基礎は必ず連続基礎で施工してください。
  基礎施工寸法は図1-1を参考にしてください。なお、（ ）内寸法は、主柱T-11ロング、端部・角柱T-11ロングの場合です。



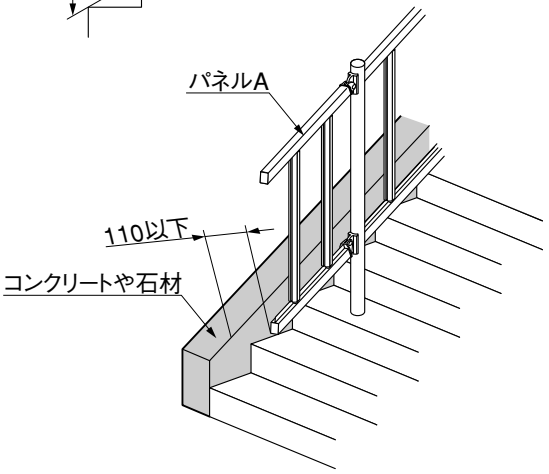
ポイント

- 水平施工の場合、パネルA上面までの高さを1100㎜にしてください。
- スロープ施工の場合、パネルA上面までの高さを1100㎜以上にしてください。
- スロープ施工の場合、パネルAと斜面との隙間は、110㎜以下にしてください。



ポイント

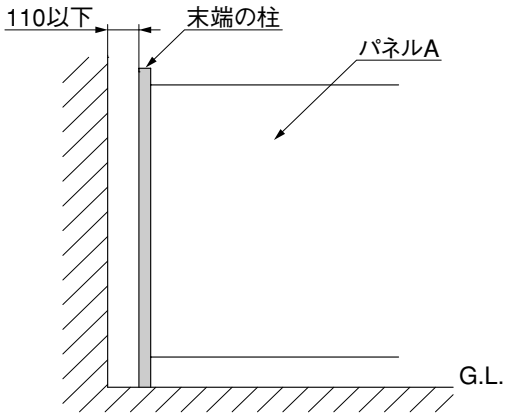
- 階段施工の場合、段の角から測ったパネルA上面の高さを、1100㎜以上にしてください。
- 階段施工の場合、必ず主柱T-11ロングまたは端部・角柱T-11ロングを使用してください。



ポイント

- 階段施工の場合、パネルAと階段との隙間は、子供がくぐり抜けたりできないように、コンクリートや石材などでふさいで、110㎜以下にしてください。

1. つづき



ポイント

- 転落防止柵の末端が建物などに接する場合、末端の柱と建物などとの隙間は、110㎜以下になるようにしてください。

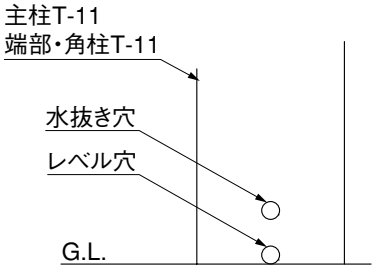


図1-2　水平施工

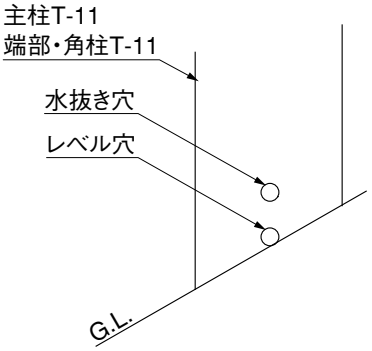
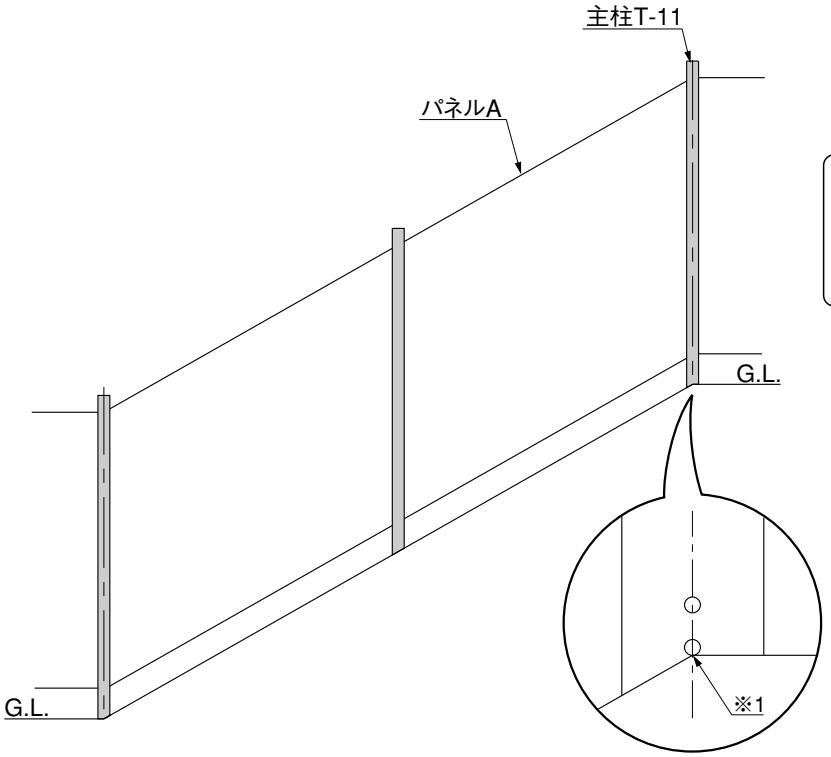


図1-3　スロープ施工

ポイント

- レベル穴の下部が、G.L.の位置に合うようにしてください。

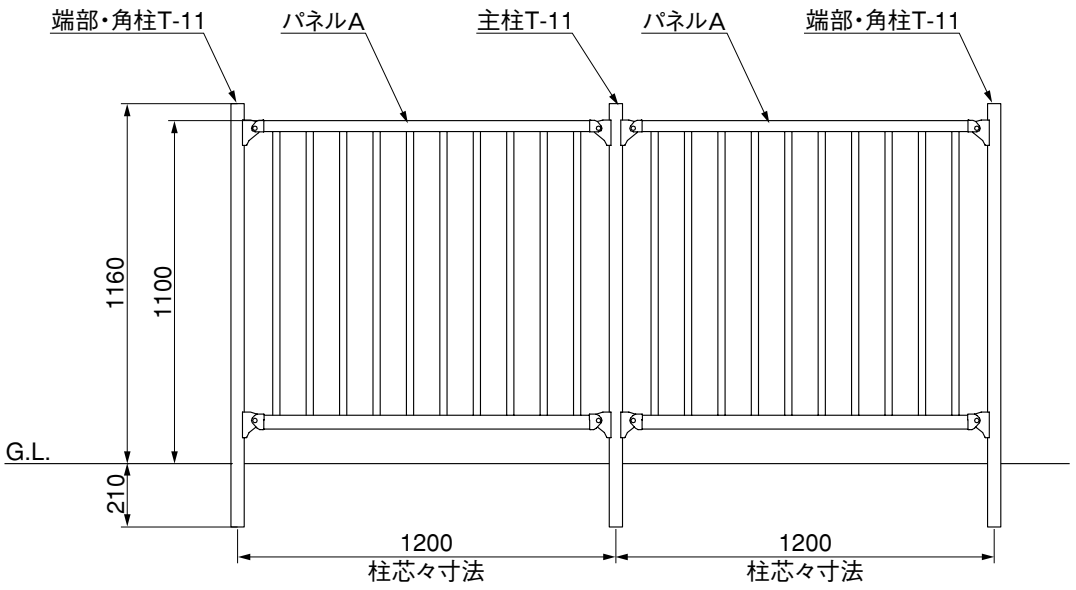


ポイント

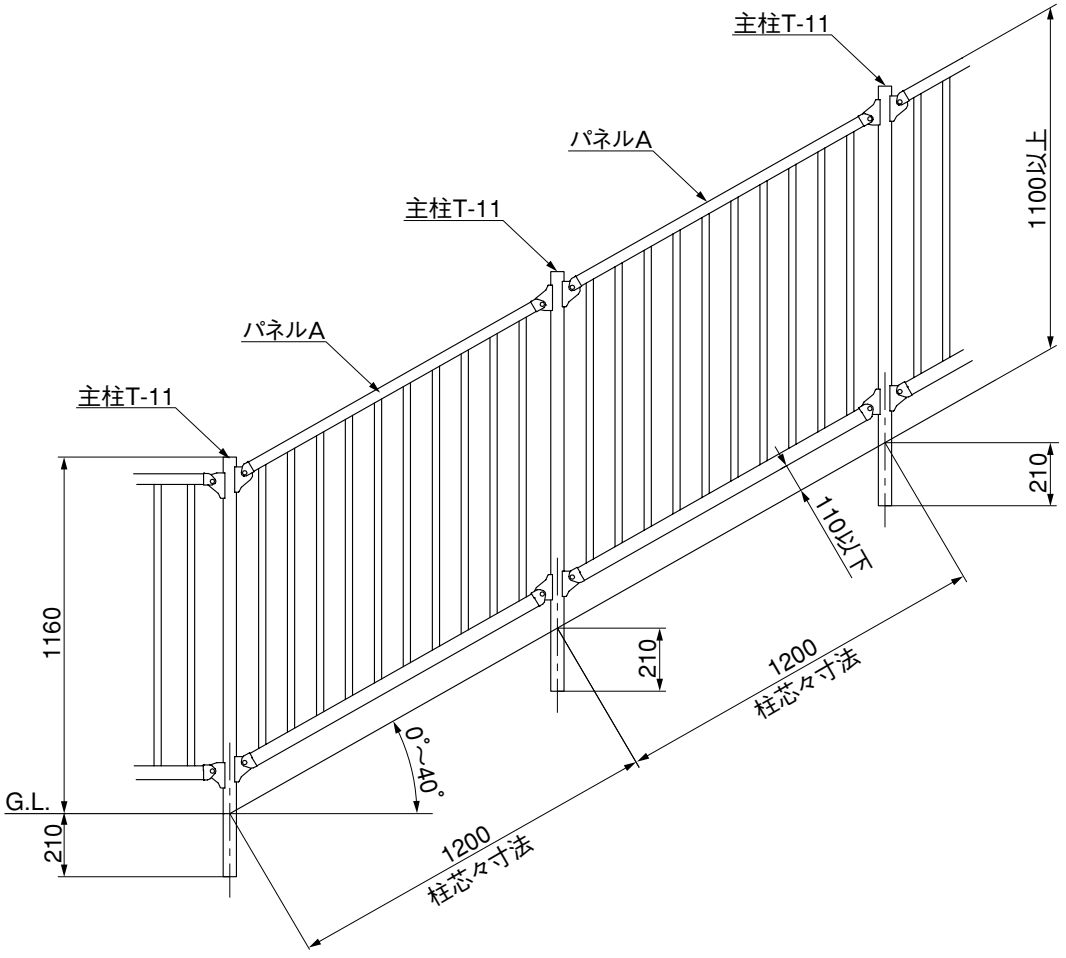
- 転落防止柵の途中で、地面や床面の傾斜角度が変わる場所には必ず各柱を設けてください。（※1）

2. 基本寸法と各部の名称

2-1 水平施工する場合

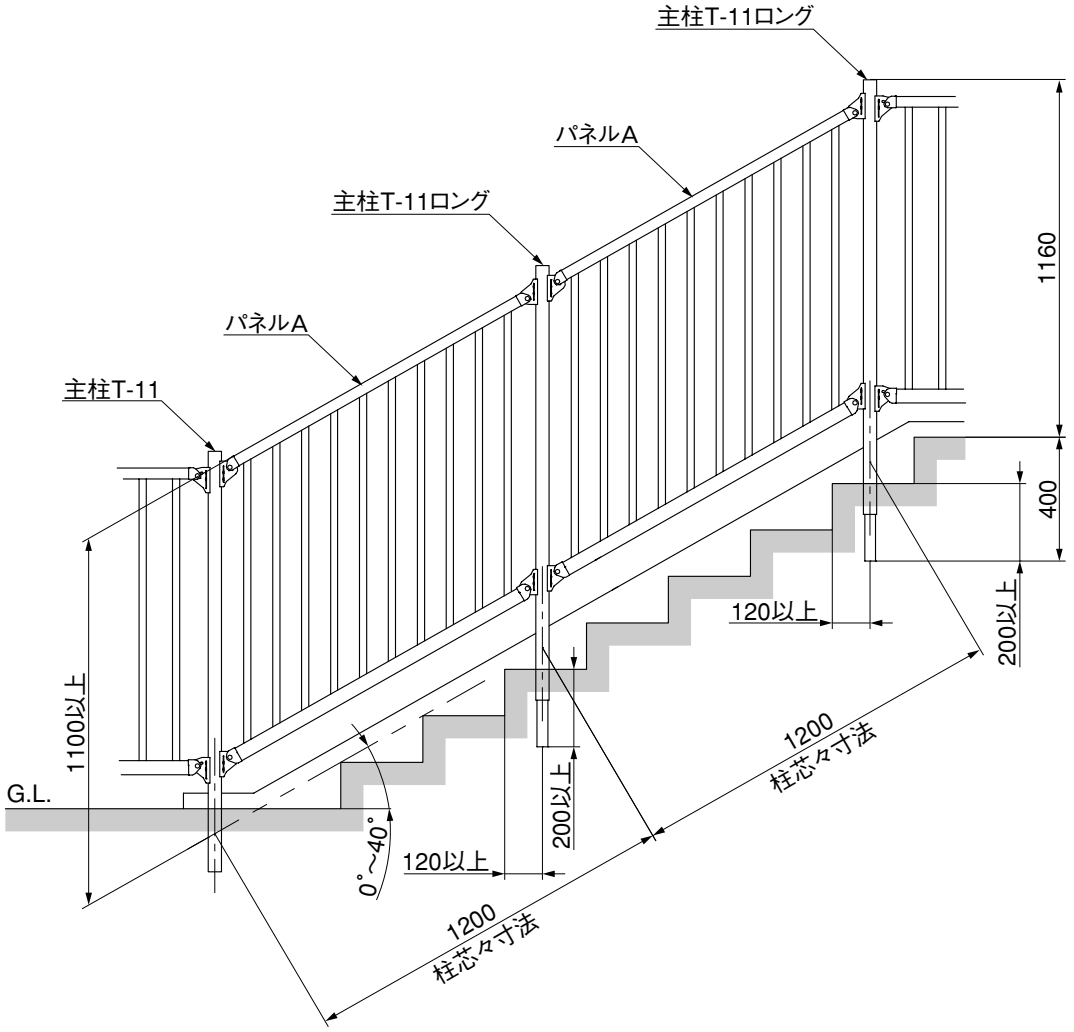


2-2 スロープ施工する場合



2. つづき

2-3 階段の踏面に施工する場合



3. パネルAの幅切詰め

3-1 上桟ブラケットと下桟ブラケットの取外し

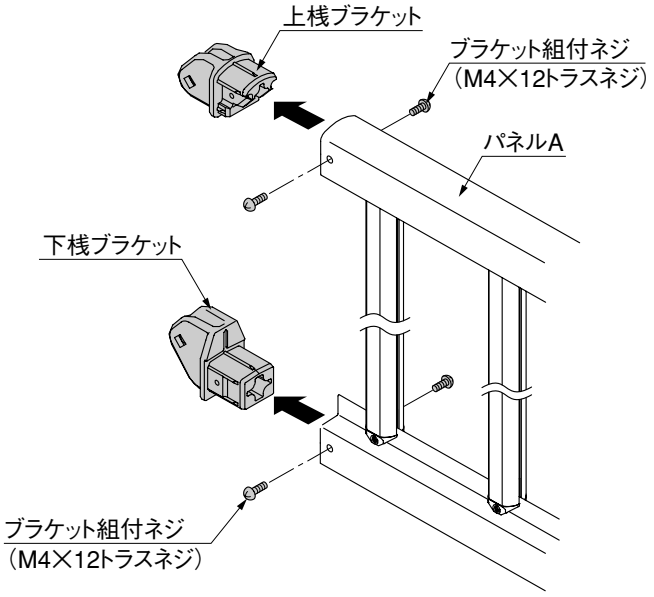


図3-1

❶パネルAの上桟ブラケットと下桟ブラケットを外してください。

3-2 上桟・下桟の切断

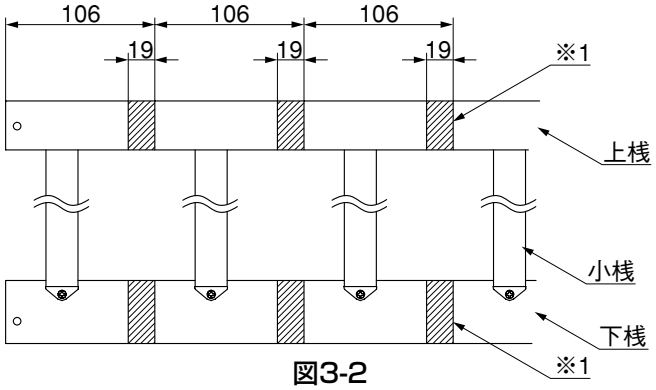


図3-2

❶パネルAは切詰め寸法に制限があります。図3-2の斜線部（※1）の範囲内で、上桟・下桟を切断してください。

補足

● 柱芯々寸法は、上桟や下桟の長さに、166㎜を加えた値になります。

3-3 上桟・下桟の穴加工

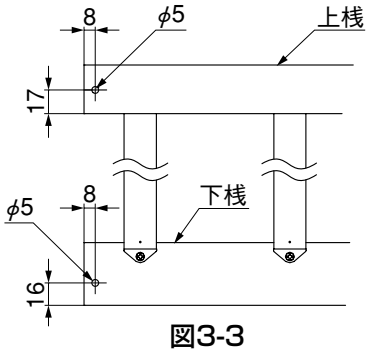


図3-3

❶図3-3にしたがって上桟と下桟に、φ5の貫通穴をあけてください。

3-4 上桟ブラケットと下桟ブラケットの組付け

❶上桟ブラケットと下桟ブラケットを元ように取付けてください。

4. パネルAの取付け

4-1 水平部の取付け

※図は主柱T-11の場合の取付を示します。
その他の柱も同様に取付けてください。

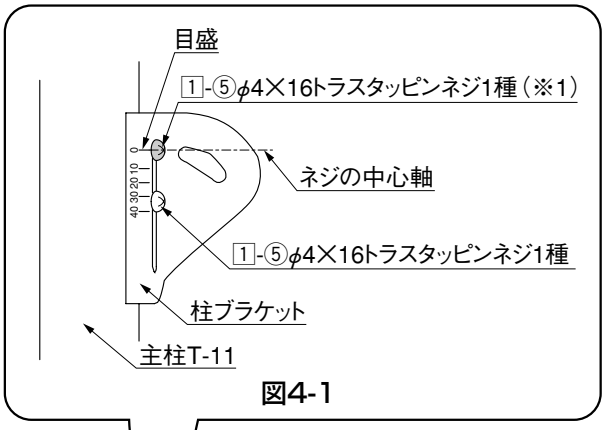
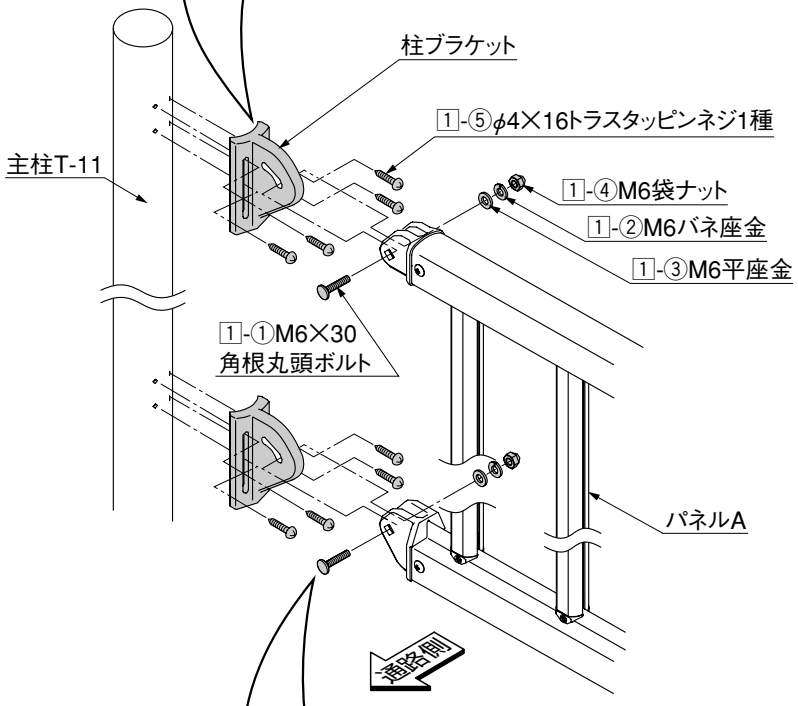


図4-1



❶図4-1のように、柱ブラケットを主柱T-11に、1-⑤で仮止めしてください。

❷上側の1-⑤（※1）と目盛0を合わせて、柱ブラケットを固定してください。

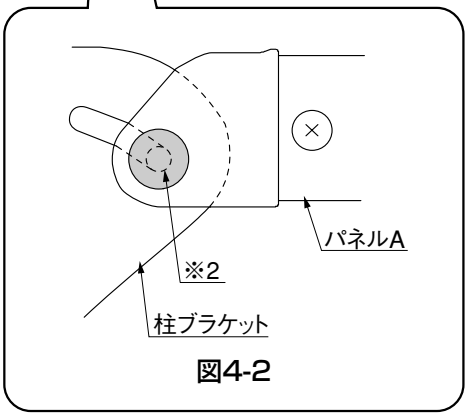


図4-2

❸パネルAを柱ブラケットの円弧状長穴の先端部（※2）に、1-①、1-②、1-③、1-④で固定してください。（図4-2参照）

補足

- 1-①を通路側から差込んで取付けると、ネジの出も少なく、きれいに仕上がります。

4-2 傾斜部の取付け　※図は主柱T-11の場合の取付を示します。その他の柱も同様に取付けてください。

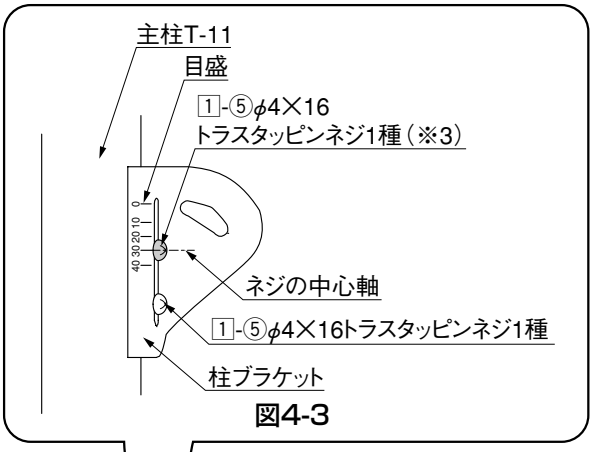


図4-3

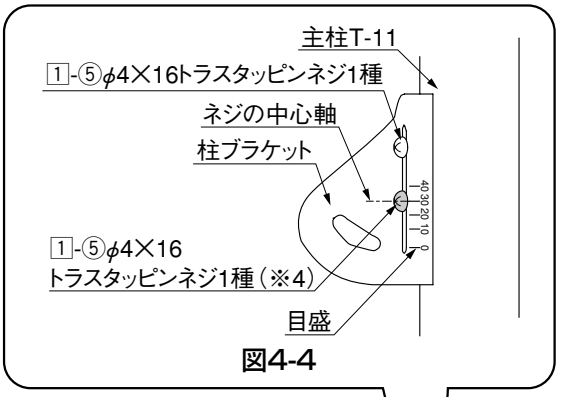
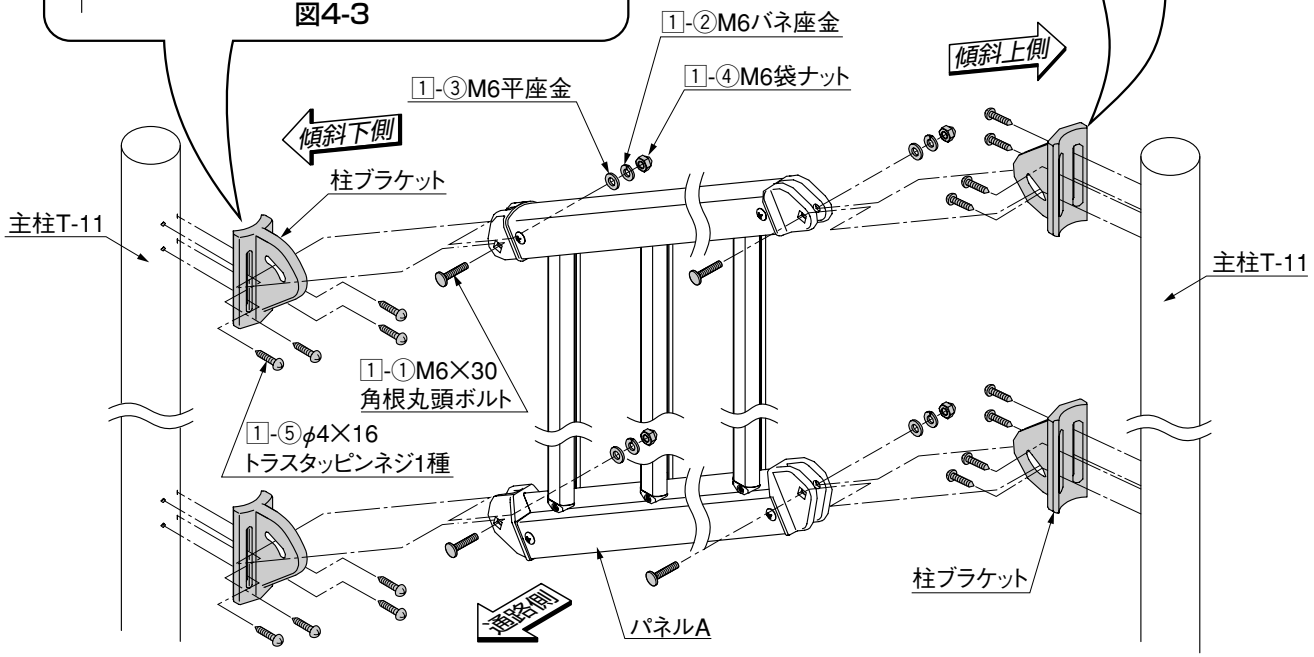


図4-4



ポイント

● 柱ブラケット側面の目盛は、傾斜角度に合わせて柱ブラケットを止める目安になります。

❶施工面または階段の傾斜角度を確認してください。
❷図4-3のように、柱ブラケットを傾斜の下側の柱に、1-⑤で仮止めしてください。
❸上側の1-⑤（※3）と傾斜角度の目盛を合わせて、1-⑤を本締めしてください。
❹図4-4のように、柱ブラケットを傾斜の上側の柱に、1-⑤で仮止めしてください。
❺下側の1-⑤（※4）と傾斜角度の目盛を合わせて、1-⑤を本締めしてください。
❻パネルAを柱ブラケットに、1-①、1-②、1-③、1-④を使用して仮組みしてください。
❼パネルAの傾斜角度や取付位置に問題がないことを確認して、1-④を本締めしてください。

補 足

● 1-①を通路側から差込んで取付けると、ネジの出も少なく、きれいに仕上がります。
● 1-①を差込むことができない場合は、柱ブラケットを固定している1-⑤をゆるめてから、柱ブラケットの位置を再度調節してください。

5. 柱ブラケット取付穴の加工　※コーナー部の柱の場合の作業です。

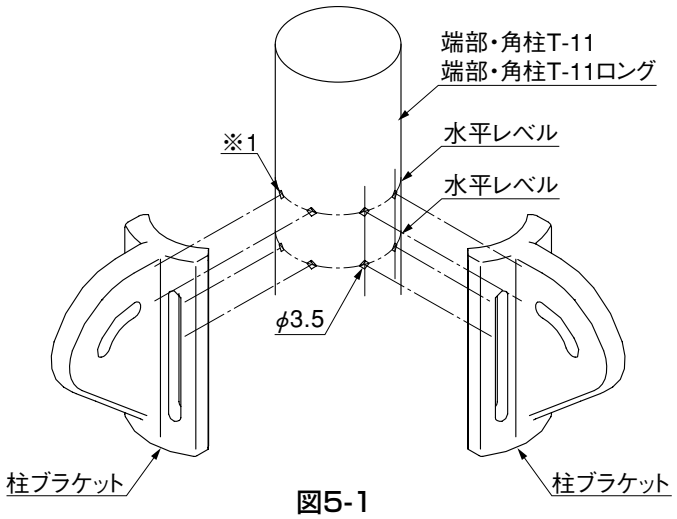


図5-1

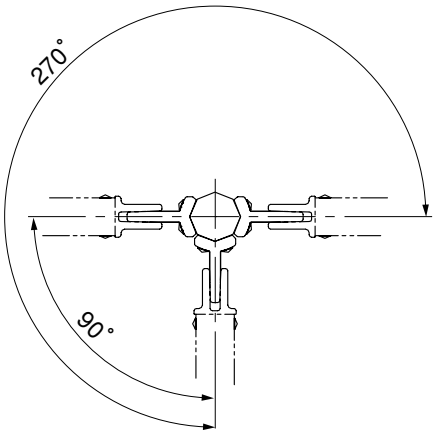


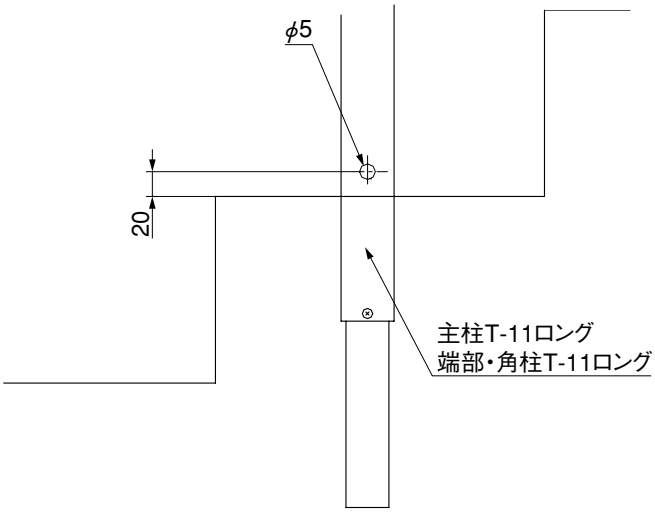
図5-2

❶すでにあいている穴（※1）と水平レベルを合わせて、φ3.5を4ヶ所にあけてください。（図5-1参照）
コーナー角度は90°～270°の範囲で任意に決定してください。（図5-2参照）

ポイント

- 端部・角柱T-11ロングにはスチールパイプが入っています。穴加工は、慎重に行なってしてください。無理な力をかけるとドリルの刃を折ったり、製品にキズを付けるおそれがあります。
- 柱ブラケットを利用すると、位置決めが容易になります。

6. 水抜き穴の加工　※各T-11ロングの場合の作業です。



❶主柱T-11ロングと端部・角柱T-11ロングに、埋込面から20㎜の高さで、φ5をあけてください。

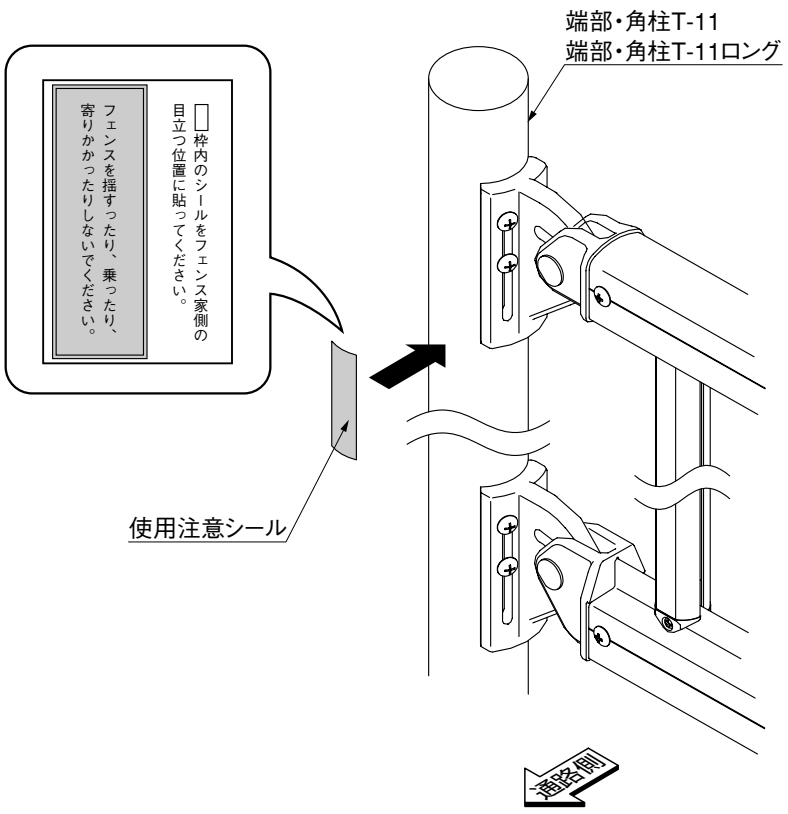
ポイント

- 主柱T-11ロングと端部・角柱T-11ロングにはスチールパイプが入っています。穴加工は、慎重に行なってしてください。無理な力をかけるとドリルの刃を折ったり、製品にキズを付けるおそれがあります。

C311_200309A

7. シールの貼付け

7-1 使用注意シールの貼付け



❶必ず使用注意シールを端部・角柱T-11または端部・角柱T-11ロングの目立つ位置に貼ってください。

⚠注 意

● 注意シールは、施主様に安全に使用していただくために必要です。

メモ

自然が未来

TOEX

東洋エクステリア

取説コード

C311

200309A_1006
200311C_1006